

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外 Paget 病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Extramammary Paget's disease of the perineal skin: role of radiotherapy	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	P C Q 13-4	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	1324902	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	24	
	号	1	
	ページ	73-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1992 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Besa P	MD アンダーソン癌センター
	その他著者 1	Rich TA	同上
	その他著者 2	Delclos L	同上
	その他著者 3	Edwards CL	同上
	その他著者 4	Ota DM	同上
	その他著者 5	Wharton JT	同上
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	乳房外 Paget 病の治療成績を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	MD アンダーソン癌センター	
	対象者	65 例に乳房外 Paget 病患者 男性 13 例、女性 53 例 平均年齢 66 歳 (38~91) 部位：会陰部 47 例、肛門周囲 11 例、陰囊 7 例 病理組織：Paget 病のみ 43 例、浸潤性腺癌の成分あり 22 例 腫瘍径：4 cm 未満 8 例、4 cm 以上 31 例、他不明	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)	
	介入 (要因曝露)	Group 1 (Paget 病のみ) 38 例：手術単独療法 3 例：放射線療法単独 2 例：切除+放射線療法 Group 2 (腺癌成分あり) 9 例：手術単独 5 例：手術+放射線療法 4 例：放射線療法単独 放射線療法：40-60 Gy 化学療法は 4 例に施行	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
		1	局所制御
	2	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()

	主な結果	30例の Paget 病成分のみの症例で切除単独治療を受けた症例の局所再発率：40%。初期治療として治療された Paget 病成分のみの症例で本疾患による死亡例なし。3例の根治的放射線療法(56 Gy)投与例はすべて制御。腺癌成分を有する症例の手術単独治療での局所再発率は75%。3例の手術+放射線療法で治療された症例はすべて制御。
	結論	合併症などのために手術ができない症例では50 Gy 以上を投与すべき。手術単独では局所再発しやすい症例では術後放射線療法として55 Gy 以上を投与すべきである。
	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間 直人
	レビュワーコメント	Group 2 の治療内容の記載が曖昧で治療内容を把握しにくい。 レベル I V